

湯川秀樹 殿

総原委第六号

昭和三十一年二月十五日

原子力委員会委員長

正力松太郎



第十四回定例委員会の開催について

標記の委員会を、左記により開催いたしますから御出席下さい。

記

一 日時 昭和三十一年二月十七日(金) 午後一時

二 場所 内閣総理大臣官邸

三 議題

- ① 原子力関係法案の準備状況について
- ② 参与制度の運営方針について
- ③ その他

第十四回 定例委員会 (二月十七日、午後一時) の概要

基礎物理学研究所

二月十八日、午後、依々木局長との電話連絡による (井上)

(1) 原子力関係に関する準備情況

今月一杯にまとめて、国会に提出の見込

(2) 給与制度の運営方針について

給与(十五名)の内訳、学内

学内	8名
民間産業界	6名
言論界	1名
とする。	

(3) 濃縮ウランの輸入に関する問題

問題点 濃縮ウランの価格、受け取りの程度、のまらさげかという

ようである(濃縮ウランは詳しくは得た、友に又男で連絡のこと) (井上)

○ 具体的な折衝の時期については二月二十日、杉本、神原両氏が帰国の上、情報を探る

(4) 雑件

基礎物理学研究所

○ 放射線総合医学研究所にて、学術会議に諮問することに決定

○ 来月のエカワフェの要員委員会への提出する資料の件。

○ 生体研よりアノの派ラニについて (これはよく意味が分りませう) (丹上)

以上。

依々木副長より二十四日の委員会には、参事の一人選もあること故、是非御出席
をお願いいたします。